

「いのち」の大切さの学びを深めるため、自分を大切に作る心と他者への思いやりを育てるように「いのちについて考える日」「いじめについて考える日」の講話を、本日の朝会で児童におこないました。

今日はとても大切なお話をします。しっかり聞いてくださいね。

豊新小学校の愛言葉「あ・い・う・え・お」はもう覚えていると思います。1年生の皆さんにもしっかり覚えてほしいので、もう一度みなさんにお話しします。

「あ」明るいあいさつ、「い」いのち一番、「う」美しい学校、「え」笑顔いっぱい、「お」思いやりの心でしたね。そして、今日はその中でも「い」と「お」についてお話ししたいと思います。

では、もう一度。豊新小の「い」は何でしたか？

「い」は「いのち一番」です。大切なもの、それは「いのち」です。

さて、命とは何でしょう？

(児童に問いかけたところ、「命はエネルギー」という素敵な回答がありました)

命は人間が生きるための電池のようなもの。でも、電池はいつか切れます。命もいつかなくなります。しかし、電池はすぐに取り替えられるけど、命はそう簡単には取り替えられません。だから、「いのち」はかけがえのないものなのです。命がないと人間は生きられない。だから自分の命も他の人の命も大切しなくてはならないのです。

みなさんは命ある限り楽しく生きたい。毎日、笑顔で暮らしたい。と思っているはずですが、しかし、友だちから悪口を言われたり、意地悪をされたり、仲間はずれにされたりしたらどうでしょう。きっと苦痛で辛い毎日だと思います。あなたの「いのち」のメーターは下がってしまうと思います。そして、「いじめ」がそうですね。みなさんの中でそんなことをやっている人はいないと思いますが、自分がされたら嫌なことを友だちにしているとしたら絶対にやめてください。「いじめ」は人として最も卑怯で絶対に許されない行為です。校長先生も豊新小学校のすべての先生もいじめを許しません。だから、豊新のみんなには、相手の気持ちをわかってあげられる人であってほしいのです。それが、豊新小の「お」の「思いやりの心」です。みなさんに聞きます。あなたの心は「意地悪な心」ですか。それとも「思いやりの心」ですか。どちらですか。

最後にもう一度。「いのち一番」です。命はたった一つしかありません。自分の命だけでなく、すべての人の命が大切です。だから、あなたが辛く苦しいときは一人で悩まず必ず周りの人に助けを求めてください。きっと生きる勇気が湧いてくるはずです。校長室に相談に来てもかまいません。みなさんをお願いします。

今日は「いのちについて考える日」、そして「いじめについて考える日」です。また、教室で担任の先生からお話があると思います。

「いのち（1番）」「にこにこ（2番）」笑顔いっぱい、豊新小学校！

最後までしっかり聞いてくれて、ありがとう。(尾崎)

